

# 多摩市の社会教育施設に関する

## 第2次アンケート回答

2017年10月20日現在

- 1 橋本由美子
- 2 安斉君子
- 3 伊地知恭子
- 4 小林憲一
- 5～9 公明党
- 10 向井かおり
- 11 板橋 茂
- 12 折戸小夜子
- 13 大くま真一
- 14 大野まさき
- 15 岩崎みなこ
- 16 松田大輔















# 多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 和久小梨子

※各質問事項の①～③でなくてはまるものに○をつけ、意向があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1) (2) に回答ください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、森と丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けよう」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。  ②反対である。  ③何ともいえない。

理由: 市民と対話を行ないながら対応策を検討することは全面的にはいいが、議会では存続(現状)の方向に、市側の意向が見えにくい。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。  ②反対である。  ③何ともいえない。

理由: 地域図書館が多摩市民に定着していること、運営のあり方は市民と話し合っている課題を整理すべきでは。

2. 教育委員会に、2016年6月「多摩市立図書館小館併設推進本部設置委員会」を設け、策定委員会は7月に互選の策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館小館併設推進基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。  ②評価しない。  ③何ともいえない。

理由: 地域図書館中心の発想に於いて「基本構想」を建設するには無理があるのでは。工地的問題もある。

内容 ①評価する。  ②評価しない。  ③何ともいえない。

理由:

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

「新年度施設の見直し方針行動プログラム」では床面積の削減が効率とされているが、この方針は既存の大規模改修、児童館の建設と財政面も床面積も拡大している。削減が拡大されている。

# 多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 大くま真一

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。                       ②反対である。                       ③何ともいえない。

理由：一方的な廃止から、市民との対話を行う方向へ進んだ点は評価しています。どういった結論となるかは今後の課題として依然としてありますが、市民の声としっかりと向き合うように、市議としても求めていますし、市民としても、様々な皆さんと協力していきたいと思えます。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。                       ②反対である。                       ③何ともいえない。

理由：公共施設としては残しつつ、公民館としては廃止という方向は、市民との十分な議論を経たものではないと感じています。行動プログラム全体として、財政問題をタテに、市が一方的に施設の削減を進めるものになっている点が大変問題です。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス  ①評価する。                       ②評価しない。                       ③何ともいえない。

理由：これまでの中央図書館を求める運動なども踏まえつつ、策定委員会では熱心な議論が行われ、基本構想が策定されたと理解しています。

内容  ①評価する。                       ②評価しない。                       ③何ともいえない。

理由：これまで多摩市が積み上げてきた図書館政策全体を評価しなおし、さらに新たに中央図書館に求めるものが示されている。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

市民の権利を保障するという視点を基本にすれば、財政問題をお題目に、市が施設を一方的に削減していくことは許されません。市民に対して情報提供し、丁寧な議論を積み上げていくことが求められていると考えます。

ご協力ありがとうございました。fax :

メール: [yarai@hosei.ac.jp](mailto:yarai@hosei.ac.jp) 郵送のいずれかの方法で10月14日必着をお願いします。

# 多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 大野まさき

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

<input checked="" type="radio"/> ①賛成である。	<input type="radio"/> ②反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 地域図書館については「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が良いかもしれないが、「市公共施設の総床面積を減らす」という本来の目的を果たすため、その分どうしていくのかが明確には伝わらないため。		

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

<input checked="" type="radio"/> ①賛成である。	<input type="radio"/> ②反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 元々の方針に反対ではなかったため。		

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス	<input type="radio"/> ①評価する。	<input type="radio"/> ②評価しない。	<input checked="" type="radio"/> ③何ともいえない。
理由	パルテノン多摩大規模改修問題や地域図書館が存続されていることを踏まえた「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」本来の目的との整合性をどこまで踏まえたものであるのか不明であることから。		
内容	<input type="radio"/> ①評価する。	<input type="radio"/> ②評価しない。	<input checked="" type="radio"/> ③何ともいえない。
理由	上記プロセスと同じ		

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

現存する市社会教育施設全てが一律に将来に渡って従来と同じ方針やあり方で存続すべきだとは断言できない。人口減、少子高齢社会となっていく中、また、技術革新や趣向性の多様化によって、前提となる施設やサービスのあり方も現状を基準に全てを定めてしまうこともできないと考える。少なくとも人口減、少子高齢社会となることで、福祉に対して従来以上のニーズと緊急性が求められる様になるというのは想像できる。そのことに重点を置くことが将来果たすべき市公共サービスの優先順位としては高いものであると考えるため、そのサービスを削ってまで、現状の社会教育施設やサービスについて不可侵とすべきとは考えていない。



# 多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 松田大輔

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。

理由

前年に再構築の基本構想にいったん賛成しながら、翌年になって議会で本館の再整備を反対した形になってしまっているため、廃止するわけにもいかず、当面存続し、対応策の検討を続けるという答えは仕方がないように思うから。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

③何ともいえない。

理由 あくまで個人意見としてというところまでしかこれに関しては結論に至っていないので『③何ともいえない』と答えさせていただく。個人というか私の所属する地域活動の団体としては非常に利用頻度が高いためその後の方針内容によっては反対するかもしれない。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ① 評価する。

理由

全7回それぞれ3時間以上の時間を費やして、それすらも拙速、構想期間が短いという意見もあるが、非常に審議した策定委員の努力が見えると思う。

内容 ① 評価する。

理由

いままで恒常的な利用が少なかった多摩中央公園との一体化をもって図書館の再整備できればほかの自治体にはない素晴らしい図書館ができると思う。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

ある程度の延べ床面積の縮減は財政的にも必要と思っている。公共施設の利用料で補おうとするのは無理な話なのでいかに市民の利用、賑わいを創出して使い倒せるかだと思う。

ご協力ありがとうございました。fax :

メール : [yarai@hosei.ac.jp](mailto:yarai@hosei.ac.jp) 郵送のいずれかの方法で10月14日必着をお願いします。